

2023年8月10日

13日夜～14日明け方は流星群が見頃、1時間に最大30個の流れ星に期待
“ペルセウス座流星群”中国・四国・九州で観測チャンスあり
～13日21時放送、「ウェザーニュースLIVE」で星空を生中継～

株式会社ウェザーニュース(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、8月13日夕方に活動の極大を迎える三大流星群(※)のひとつ“ペルセウス座流星群”の観測を楽しんでいただくため、13日夜～14日明け方の全国の天気傾向を発表しました。13日夜～14日明け方は、台風7号の影響を受けるところが多く、北海道から近畿の広い範囲で流星観測は難しい予想です。台風から離れた四国・中国・九州は流星観測のチャンスがあり、太平洋側ほどチャンスが大きい予想です。

24時間生放送の気象情報専門チャンネル「ウェザーニュースLIVE」では、13日夜にペルセウス座流星群に関する特別番組を配信予定です。番組では星空の生中継を行い、流星群の様子を視聴者の皆さまにお届けします。流星観測が難しいエリアの方や外での観測が難しい方は、ぜひ「ウェザーニュースLIVE」の流星中継をお楽しみください。

※ 三大流星群:1月の“しぶんぎ座流星群”、8月の“ペルセウス座流星群”、12月の“ふたご座流星群”

ペルセウス座流星群 特設サイト	ペルセウス座流星群 2023 特別番組
https://weathernews.jp/s/star/perseus/	https://www.youtube.com/live/13XkjVrqZgU?feature=share

◆ 気になる天気は？中国・四国・九州で観測チャンスあり



ペルセウス座流星群は、1月のしぶんぎ座流星群、12月のふたご座流星群と共に三大流星群の一つとされており、観測できる流星の数は年間でも1・2位を誇る流星群です。今年は8月13日17時頃に活動の極大を迎えるため、一番の見頃となる13日夜から14日明け方にかけてが観測のチャンスです。

13日夜から14日明け方にかけては、台風7号の影響を受けるところが多く、北海道から近畿の広い範囲で流星観測は難しい予想です。台風の接近により荒天のおそれがあるため最新の気象情報を確認するようにしてください。

四国・中国・九州は台風から離れており、流星観測のチャンスがあります。太平洋側ほどチャンスが大きい予想です。東北日本海側と北陸は、台風の接近が遅れる場合は流星観測のチャンスがありそうです。

なお、台風7号の進路によっては、今後見解が大きく変わる可能性があります。最新の情報は「ウェザーニュース」アプリの『星空 Ch.』、またはウェザーニュースのウェブサイト「ペルセウス座流星群 特設サイト」(<https://weathernews.jp/s/star/perseus/>)にて更新していきますので、随時ご確認ください。

◆ 「ウェザーニュース LiVE」で流星特別番組を実施

24時間生放送の気象情報専門チャンネル「ウェザーニュース LiVE」では、13日夜にペルセウス座流星群に関する特別番組を配信予定です。番組では星空の生中継を行い、流星群の様子を視聴者の皆さまにお届けします。ゲストに国立天文台の平松正顕さんをお迎えし、星空の解説も行っていただきます。番組は YouTube LIVE やニコニコ生放送、TikTok LIVE など各種動画サイトでご覧いただけます。



流星観測が難しいエリアの方や外での観測が難しい方は、ぜひ「ウェザーニュース LiVE」の流星中継をお楽しみください。なお、気象状況によっては番組内容を変更する可能性があります。

◆ 活動のピークは13日17時頃、放射点が空高く昇る深夜～明け方に観測チャンスが高まる

2023年のペルセウス座流星群は8月13日17時頃に活動の極大を迎えます。国立天文台によると、目立って多くの流星が出現するのは11～14日の4夜の予想です。放射点(※)が空に昇る21時頃から流星が出現するようになり、放射点が空高く昇る明け方に近づくにつれて流星の数は多くなる見込みです。空の暗い場所で観察した場合の流星数は、14日夜明け前には1時間あたり30個程度、13日夜明け前には1時間あたり25個程度の流星が期待できます。

流星はペルセウス座の周辺のみには出現するわけではなく、夜空のどこにでも現れます。月明かりを視界に入れないようにしながら、できるだけ空を広く眺めるようにして見てみてください。

※ 放射点:流れ星(群流星)が飛び出してくるように見える天球上の点



8月13日 22時頃 北東の空(東京)